

メディアワールド

研究主題

情報活用能力を生かし、問題解決する子どもの育成

横浜市立小学校
情報・視聴覚 研究主任様

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育研究部会員様

授業デザイン部会

実践提案 3年社会「わたしたちの大好きなまち」

スキルアップ部会

実践提案 「教室にタブレット端末がやってきた」

平成27年度 7月号

[発行]

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育研究会
会長 田中 公明

7月1日(水)に西公会堂にて各部会による会員研究行われました。

<授業デザイン部会>

提案者：山口晃史先生(南区 南吉田小学校)
提案内容：3年社会
「わたしたちの大好きなまち」

外国につながる児童が多いという実態に応じて、授業のユニバーサルデザインにICTや思考ツールがどのように寄与するのか、その可能性を考えることができました。

まち探検の導入では、Googleマップのストリートビューを見ながら、気になったことを出し合いました。東西南北を意識しながらまち探検に行き、気づいたことをXチャートに記録しました。Xチャートを使うことで視点が明確になるため、子どもたちが何を見たらよいか分かり、情報を集めすぎることなくなります。

また、学校に戻ってからデジカメで撮影した写真を見合うことで、言語コミュニケーションが難しい子ども、土地の様子や建物などまち探検での発見を共有することができます。

Xチャートを使いながら情報を分類整理することによって、どのようなまちの特徴が見えてくるのか。教師がきちんと教材分析をし、見通しやねらいを明確にもってツールを使うことが重要であると分かりました。



<スキルアップ部会>

提案者：佐野幸彦先生(瀬谷区 三ツ境小学校)
提案内容：教室にタブレット端末がやってきた

三ツ境小学校でのタブレット端末活用を紹介していただき、その後実際にタブレット端末を使ったワークショップを行いました。

【活用の紹介】

6年国語「『鳥獣戯画』を読む」「この絵、私はこう見る」の学習で、タブレットを活用した実践を紹介されました。子どもたちは、教科書の挿絵を拡大して細かいところを見たり、縮小して全体を見たりしながら、自分の見方を友達に説明します。鳥獣戯画ではウサギの表情、風神・雷神の足の爪など、細かな描写への気づきをみんなで共有できることに、楽しさを感じていたようです。子どもたちは抵抗なくタブレットを使っているようでした。

【ワークショップ】

タブレットを活用して、研究会場(西公会堂)のCMづくりをペアで行いました。西公会堂にある物や設備などを動画で撮影しました。一人がレポーターとなり、移動しながら紹介したりするなど、様々な工夫が見られる発表となりました。一方、実際に撮った動画を見てみると声が小さくて聞こえにくかったり、手ぶれで映像が見えにくかったりなどの印象も受けました。撮影したものをすぐに再生できるのがタブレットのよいところ。実際に使ってみることで、子どもに指導するときのポイントがわかりました。

夏季研修会

長津田第二小学校

2015年7月28日(火) 9:30~

詳細は各校に配布されている案内をご覧ください

次回予告

西公会堂

2015年9月2日(水) 15:30~

多数の参加お待ちしております。



研究会HP QRコード



研究会HP <http://www.edu.cityyokohama.jp/sch/enkyu/es-ict/>

[編集] 紀要・広報担当 細野 友貴(鶴見区 新鶴見小学校)